



日本福音同盟 Japan Evangelical Association

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 000ビル内

TEL:03-3295-1765 FAX:03-3295-1933 email:admin@jeanet.org

米国・イスラエルとイランの軍事衝突に関する日本福音同盟（JEA）社会委員会声明

2026年2月28日、米国・イスラエルとイランの間で大規模な軍事衝突が発生しました。米国とイスラエルによるイランへの大規模な攻撃が始まり、イランの要人殺害を含む軍事行動を契機にイランによる反撃も中東地域に拡大しました。6月17日にアメリカとイラン両国で覚書が締結されましたが、その後、イラン側が民間船舶に攻撃を加え、アメリカもイランに武力で応酬するなど、情勢は今なお不安定であります。この軍事衝突によって、すでに数多くのいのちが失われています。イランの都市部への激しい空爆では、学校に通う子どもたちを含む多くの民間人が犠牲となり、その数は千人を超えるとも報じられています。他方、イランによる反撃もまた、ホテルや石油施設など人々の日常の場に及び、多くの民間人を巻き込んで人々を傷つけ、いのちを奪い、住まいをも失わせています。私たちは、いずれの国、いずれの民に属するかを問わず、尊いのちが失われたことに深い悲しみをもって嘆きます。このまま双方からの報復が激化すれば、お互いへの敵意はますます強まり、和解の道は壊滅的に遠のくことになるでしょう。

私たちは、悪を抑止し、人のいのちを守るために、国家的為政者に剣の権能が神から託されていることを聖書にかなうものであると認めます。だからこそ、そのような剣の権能は悪を抑止し、人のいのちの尊厳を守る目的に限定されなければならず、法の支配と平和の理念の下で、その行使は厳しく制限されなければなりません。核兵器の拡散という脅威も重大な問題であるとともに、国際法上、重大な疑義を免れない武力行使や相手国の指導者を含む要人の殺害を伴う軍事行動に踏み切ったことを正当化することはできません。核開発を巡る協議が行われていた中で、武力攻撃を行ったことは、対話による解決の道を損ない、憎悪と報復の連鎖を招くことになりかねません。とりわけ、軍事力や経済力を有する大国が、自国の安全保障や国益を最優先し、国際社会の合意形成や他国の主権を軽視する姿勢は、世界にさらなる分断と不信をもたらします。いかなる国家であれ、自国中心的な論理によって他国に従わせようとするあり方に警戒しなければなりません。

主イエスは、「律法の中で、どの戒めが一番重要ですか」と問われた際、神を愛すること、そして「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」（マタイの福音書 22 章 39 節）と命じられました。さらに主は「良きサマリア人」のたとえを通し、ユダヤ人と敵対関係にあったサマリア人の姿を示しつつ「あなたも行って、同じようにしなさい」（ルカの福音書 10 章 37 節）と仰いました。これらの御言葉は、身近な人間関係にとどまらず、対立する国家間においても、相手を「滅ぼすべき敵」としてではなく、共に生きるべき「隣人」として見

るようにと、私たちを励まし、導いています。そして、私たちが隣人と共に生きられるように主イエスは神と敵対していた私たちを和解へと導くために十字架にかかけられました。

それゆえに、主イエスはまた、「『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」（マタイの福音書 5 章 43～44 節）とも命じられるのです。

人間は、他者との関わりの中で、互いを認め合いながら共に生きる者として造られています。教会はこの神の御心を受け止めて、いかなる国、民族、宗教、体制にある人々を神が創られた尊い隣人として覚え、敵意ではなく和解を、報復ではなく対話を実現するために祈り、願い、働きかける務めを果たしたいと思います。とりわけ私たちは、戦火の中で苦しむイランおよび中東の教会と信仰者、また国や立場を越えて避難を強いられ、傷つけられている人々のために、心を合わせて祈ります。日本に生きる私たちもまた、この地域から重大な影響を受け、この地域の平和と深い関係にある者として、互いの政府が対話と外交による和解の道を歩むように祈ります。私たちは、両陣営が抱える恐怖や困難を覚えつつ、これ以上の武器の行使を止め、人のいのちを奪う深刻な事態から遠ざかり、対話による平和的な解決の道を模索することを切に求めます。主が望まれる平和（シャローム）が、少しでもこの地上に実現されますように。私たちキリスト者もまた、この困難な時代の中で、敵意の壁を越えて隣人と共に生きる道を祈りつつ歩んでまいりましょう。

平和の君なるイエス・キリストよ。今、この時代に祈ります。私たち人間の犯す争い、破壊、混乱をお赦してください。主の平和が一日も早く世界の隅々にまで実現しますように。私たちを平和の器として用いてください。自己中心の罪に気づかせ、他者と共に生きる勇気を教えてください。「神のしもべ」である為政者たちのために祈り続ける忍耐力を与えてください。

2026 年 8 月 31 日

日本福音同盟（JEA）社会委員会

委員長 星出卓也

本声明は、日本福音同盟社会委員会の責任において公表するものであり、日本福音同盟加盟諸団体の全体の公式見解を示すものではありません。